

8月12日タイ王国ナショナルデー

タイのシリキット王妃陛下は8月12日にお生まれになりました。タイではこの日を母の日と定め、国を挙げてお祝いをします。タイ・パビリオンは、この日を2005年愛・地球博のタイ王国ナショナルデーに選びました。

ナショナルデーのイベント：

2005年8月12日、EXPOホールにおいてタイ王国ナショナルデーを祝う特別イベントが行われます。さらに8月12日～15日にはタイ・パビリオンとコモン6イベントスペースの2会場において以下のような催しが行われます。

タイ人形劇：ジョー・ルイス・シアター



50年間前、フン・ラコーン・レックというタイ人形劇はタイ文化界から消失してしまいました。そして、1985年に伝統の継承のため、ジョー・スイスとして知られるサーコーン・ヤンキョーオソードは人形と人形の演技を作り直しました。その結果、ジョー・ルイスのタイ人形



劇は世界中で有名になりました。この人形劇は人形使いの動きに合わせて人形たちが踊るように洗練された動きを見せます。人形使いたちがコーンに関する知識やコーンの訓練が必要です。

その上、タイ人形劇ショーは様々な芸術を含めます。

- ハッタシン : 人形の手工芸
- プラーニードシン : 織物の技術
- ナーッタシン : 人形使いの技術
- キータシン : 音楽
- マンタナシン : 背景と舞台の設定

タイの有名な文学作品『ラーマキエン物語』の登場人物を題材にした『ハヌマーン、ベンヤカイを捕まえる』などが上演されます。これは猿のハヌマーンとベンヤカイという女性のお話です。

「楽園の遺産」公演



「楽園の遺産」(Heritage of Paradise)と題してタイの伝統的な舞踊の数々を披露します。同ステージはタイの見事な織物やデザインを堪能できるファッションショーを行います。この織物はタイ各地方であり、タイのシリキット王妃陛下のプロジェクトの物です。シリキット王妃陛下は



農村の貧しい人々のために「サポート基金」を設立されました。正式名を「副業と関連技術振興のための基金」というこの基金は、農村で暮らす人々が従来の焼畑農業に代えて



て手工芸で生計を立てられるよう職業訓練の機会を与え、同時にタイの伝統工芸を復活させようというものです。

プログラム

2005年8月12日 EXPO ホールにおいて

10:00-11:00 受付

11:00-11:20 公式セレモニー

11:20-12:00 ビデオ上映-タイのシリキット王妃陛下の功績を記念する

- 国王の森林保護プロジェクト、「森林が水を愛するプロジェクト」や「大きな森の小さな家プロジェクト」はその一例です。
- ゴールド・ケレスメダル、国連食糧農業機関1979年、野生動物保護への重要な貢献を称える表彰状、世界自然保護基金. 1986

タイ人形劇ショー「ハヌマーン、ベンヤカイを捕まえる」

タイの伝統的な公演「楽園の遺産」

13:45-14:15

平和町からの人達により沖縄ヘイサー

EXPO ホール以外の上演スケジュール：

日	場所	時間	内容
8月12日	EXPO ホール	13：30 - 14：00	伝統的な舞踊「楽園の遺産」
	コモン6の イベントスペース	13：30 - 14：00	タイ人形劇ショー
	コモン6の イベントスペース	14：30 - 15：00	タイ人形劇ショー
8月13～15日	コモン6の イベントスペース	14：00 - 15：00	タイ人形劇ショー
	タイ館内	12：00 / 16：00 / 18：00	伝統的な舞踊

